

商店街活性化事業計画の概要

地 域	大分県宇佐市	認定日	平成21年 10月9日
-----	--------	-----	-------------

事業名: 高齢者に愛され、頼られる商店街づくり事業

事業者名: 四日市商店街振興組合(大分県宇佐市)

事業実施期間 平成21年10月～平成24年3月

商店街活性化事業の概要

・商店街利用者に高齢者が多いこともあり、高齢者をはじめ地域住民に愛される、頼れる商店街を目指し、高齢者のニーズに合った事業を展開し、来客の増進と賑わいの創出を図る。
・また、毎年ニーズ及び満足度調査を行う他、専門家による研修会やセミナーを開催し、商店街として統一性をもった取り組みを行う。

商店街活性化事業の内容

地域住民ニーズ

アンケート調査結果から、来街者は60歳以上が45.3%、頻度は毎日が37.3%となっており、高齢者を中心とした地域住民が身近な商店街として利用していること、また現商店街に少ない飲食店(55.4%)や各種小売業(27.7%)などの新しい店の開設やイベントなどの振興組合活動に期待が高かったこと、さらに地産地消アンテナショップの利用希望(88.0%)が高いこと等が判明した。

実施計画の主な内容

・地産地消アンテナショップの設置

空き店舗を活用し、地元生産の物産品販売を行うほか、店内にて地域情報の受発信(掲示板の設置、情報紙の毎月発行など)や談話スペースの設置を行う。

・よりたいお店設置事業

空き店舗対策として、高齢者ニーズに合った店舗の開設(3店舗)を行う。

・およこい(休憩)スポット設置事業

街並みにマッチした縁台や日よけを広場・通りに設け、高齢者の休憩場所を設置するとともに、茶湯等のおもてなしを行う。

・おたのしみイベント「新門前町よか市(仮称)」の実施

地域住民参加型のイベントとして月に1回実施する。地元活動グループの発表の場や市内農山漁村地域の市等を設置する。

商店街活性化事業計画の目標

・商店街の商店街通行量を実施計画終了時に平成16年度比維持の22千人・車に、また、空き店舗率を現状維持の16.4%を目指す。

【 くつろぐ来街者 】



【 会話を楽しむ来街者 】



【 地域イベント開催状況 】

